

令和3年度 地域活性化活動助成事業報告書

令和3年2月25日

活動名 「学校という公共空間をデザインするV」

「学校を地域の将来を担う人材を育成とすると共に、自立した地域社会の基盤を構築する場に」～「学校を核（舞台）とした子どもと住民による地域づくりの実践「共に響き合うトライアングル型まちづくり事業」の展開を軸に～

活動の概要

1 はじめに

○今回の指導要領前文の「よりよい学校教育を通して、よりよい地域をつくる」理念、平成27年12月中教審答申（いわゆる「協働活動答申」）を受けて、法改正された「地域学校協働活動」の推進、「やまぐち地域連携教育」の推進、長門市教委の提唱する「地域と共にある小中一貫みすゞ学園構想」の推進を受けて、油谷地域での具体的視点に立った実践を、漢方薬のような取組であるがパートVとして本年度も進めてきた。

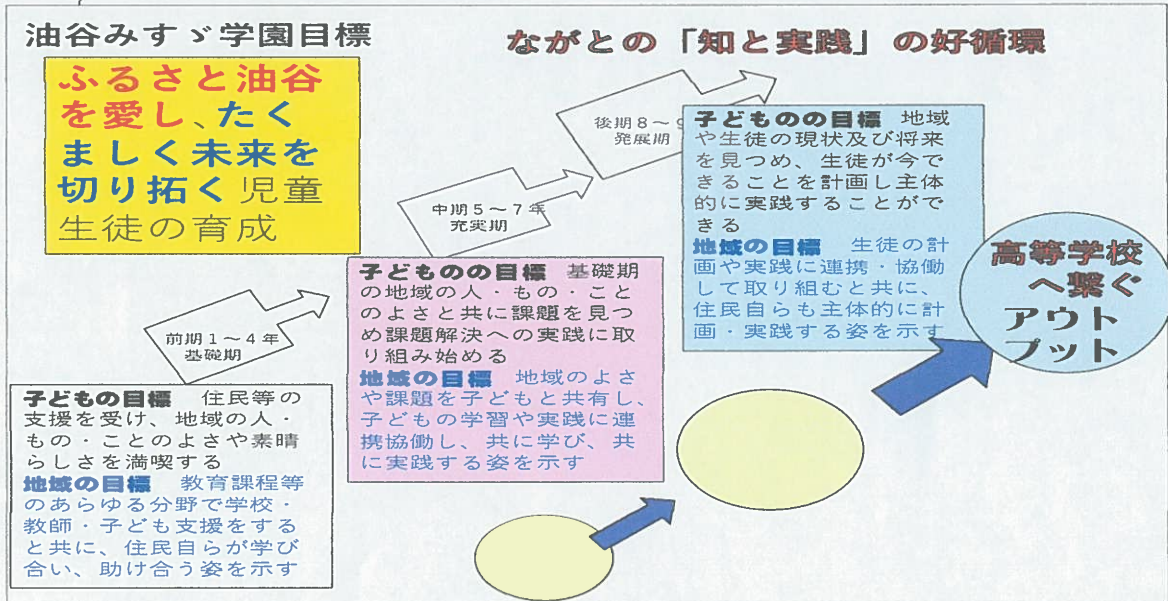
活動の成果

○具体的には、①「油谷みすゞ学園」小中一貫9年間を見通し「地域の将来を担う人材の育成と共に、②住民自らが自立した地域社会の基盤を構築する」取組で、学校を舞台（核）に学校と地区社協を公民館がつなぐ「共に響き合うトライアングル型まちづくり事業」（下図）に取り組んできた。

今後の課題

2 油谷みすゞ学園」小中一貫9年間を見通した「地域の将来を担う人材の育成」

油谷みすゞ学園の目標の下に、学校と地域が9年間の基礎期、充実期、発展期の各段階での子どもたちの目標と共に地域の目標（下図）を掲げて実践してきた。



3 学校を核（舞台）に、子どもと共に「住民自らが自立した地域社会の基盤を構築する」～「共に響き合うトライアングル型まちづくり事業」～

具体的には下図に示した実践である。本年度はコロナ感染の第5波さらには第

6波の波を受けながらも **（ピンク）** 部分は実施してきた。なお **（黄色）** 部分はこの事業の中核事業である。各事業とも規模を縮小せざるを得ないものも多々あった。

模式図



4 小中一貫みすゞ学園9年間を、3期に分けた学校の目標と地域の目標に基づく実践内容を具体的に写真等で掲載して報告とします。

ふれあい挨拶運動



おしかけふれあい塾



新入生下校指導



おしかけふれあい塾



NPO しぜんとあそびたい



わくわくタイム



芋植え付け・収穫・焼き芋P



田植・稲刈



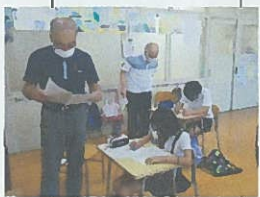
しめなわづくり



バードウォッチング

地域が小学生に

サマースクール学習



サマースクール学習



コロナ禍で水泳授業が縮小→地域講師招聘



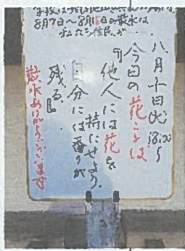
中学生が小学生に



高校生が中学生に



環境美化



飽教室



青少年育成会・子供会母の会親父の会



卒業へのコサージュ作り



認知症になっても僕たちがいるよセミナー



私たちの鯨食文化セミナー



油谷まち・みんなのサマースクール



私たちの避難所運営セミナー



菱中企画（みすゞ学園）スマイルプロジェクト



油谷小YYフェスタ



立志式フェスタ公演



子どもと学ぼう&カレーライスとサロンの日



助成金の使途

助成金額

40,000円

使途	項目	金額(円)
使途	通信費 (高齢者が多くPC対応が主になるため)	62,160円
	事務用品 (PCインク、用紙、封筒、写真用紙等)	42,931円
	備品費 (PCプリンタ、ケーブル、散水ホース)	14,312円
	負担費	20,000円
	支出合計	139,403円

報告者

上記の通り、地域活性化活動助成事業に係る活動報告書を提出します
 令和4年2月25日
 団体名 学校と地域をつなぐコーディネーター（学校地域協働活動）協議会

旧代表責任者 森田和康



教育会支部長の確認

支部名 大津支部
 支部長 三輪和明

